令和６年度長野県地域発元気づくり支援金事業

自由大学運動100年記念

市民ゼミナールへのいざない

―物事を深く考える対談と交流―

100年前の自由大学が目指した、「学び、学び合う」とは、どのようなことだったのだろうか。現代版上田自由大学に一歩近づけるための全3回の対談と参加者との学び合う交流企画。対談者は、長島伸一長野大学名誉教授と深町稔 元「週刊上田」編集長。毎回ひとつのテーマを設け、答えのないテーマを取り上げることで、考える機会を得ると同時に、他者の考えとも「学び、学び合う」絶好の場となります。

各回共通

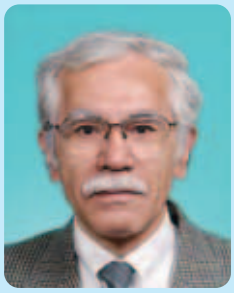
申込不要
入場無料

会場　**上田中央公民館 3階視聴覚室**
（上田市材木町1-2-3）

受付　13：30～
対談　14：00～15：30
交流　15：40～16：30

★各回の概要と講師の紹介は裏面をご覧ください。

講師



長島 伸一 さん
（長野大学名誉教授）

深町 稔 さん
（元『週刊上田』編集長）

1 2024年7月20日(土)

「いのち」をめぐる哲学

宮沢賢治著(1896～1933)『よだかの星』と、森達也(1956～)著『いのちの食べかた』から、“いのち”のいただき方を考える。

2 2024年8月24日(土)

上田自由大学とジャーナリズム

小宮山量平(1916～2012)、タカクラ・テル(1891～1986)、須田　治(1954～2003)、松山幸雄(1930～2021)から、100年前と現代のジャーナリズムについて考える。

3 2024年10月12日(土)

教養とは何か。教養人とはいかなる人物か

自由大学が求めた教養の内容(内実)とは、いかなるものであったか。
教養があるということと物知りとは、同じか違うか。どちらを選ぶにせよ、その理由はどこにあるのかを考える。

主催：自由大学運動100年記念フォーラム実行委員会　　**共催：上田市教育委員会**

後援：上田市　東御市　長和町　青木村　東御市教育委員会　長和町教育委員会　青木村教育委員会　上田商工会議所　信濃毎日新聞社　週刊上田新聞社　信州民報新聞社　東信ジャーナル社　㈱上田ケーブルビジョン　丸子テレビ放送㈱　朝日新聞長野総局　読売新聞長野支局　毎日新聞　NHK長野放送局　SBC信越放送　NBS長野放送　TSBテレビ信州　長野朝日放送　長野大学　上田女子短期大学　信州大学繊維学部　高教組上小支部　県教組上小支部　ヤマンバの会　神川・山本鼎の会　クラシック音楽に親しむ講座の会　NPO法人上田図書館倶楽部　長野県歴史教育者協議会　上田小県近現代史研究会

お問い合わせ　自由大学運動100年記念フォーラム実行委員会　090-9844-9401（和田）

【お願い】2050ゼロカーボンに向けたアクションを実施します。会場内での飲み物はマイボトルご持参でお願いいたします。ご来場は、可能な限り徒歩・自転車・公共の交通機関をご利用いただき、複数名でご参加される方は乗り合わせ等でゼロカーボンに向けた取り組みにご理解いただけますようお願いいたします。

各回概要

第1回

2024年7月20日(土)

「いのち」をめぐる哲学

“いのち”のいただき方「よだかの星」をめぐって

宮澤賢治の「よだかの星」の主人公は、生物のいのちを食べなければ生きていけない自らの運命を悔やんでいた。太陽や星に相談するが、悩みを解決する糸口は見いだせない。生きることに絶望したよだかは、夜空を飛び続けるほかなくなる。居場所を失ったよだかは、やがて青白く燃える星となって、夜空の輝ける存在として今も燃え続けている。

第2回

2024年8月24日(土)

上田自由大学とジャーナリズム

新聞、雑誌、テレビなどの功罪について考える。ジャーナリズムには、便利さと危うさが同居している。正確な情報に紛れて、信憑性が乏しい情報も含まれている可能性は避けられない。情報の海の中で、私たちは正しい情報を選り分ける能力を身につける必要に迫られている。そのためには、いかなる準備が求められるか。知恵を出し合う必要がある。

第3回

2024年10月12日(土)

教養とは何か。教養人とはいかなる人物か

英語のcultureは「文化」とも「教養」とも訳すことができる。日本語では交わることがなさそうな二つの単語が、英語では共にcultureで表現されるのはなぜか。agricultureは「農業」のこと。agriは「土地」を意味するが、cultureの動詞（cultivate）は「耕す」という意味。土地を耕すのは「農業」。文化や教養も「耕す」ことで豊饒なものに変わりうるか？

講　師

長島 伸一 さん（長野大学名誉教授）

1947年横浜市生まれ。1970年上智大学文学部新聞学科、1972年法政大学経済学部卒。法政大学大学院社会科学研究科修士・博士課程を経て、1990年長野大学産業社会学部助教授、1995年同教授。産業社会学部長、副学長を経て、2016年退職。長野大学名誉教授。

深町 稔 さん（元『週刊上田』編集長）

1941年生まれ。大学卒業後小宮山量平氏主宰の「理論社」に23年間勤務。編集部では作家早乙女勝元氏・早船ちよ氏らを担当。営業・宣伝・制作にも就く。1988年創刊より2007年まで「週刊上田」編集長。市民読者の登場を重点に編集、小宮山量平氏・米津福祐氏・龍野彰宏氏らの連載も好評を得、その多くを出版した。

開催のお知らせ　**2024年自由大学運動100年記念フォーラム**

自由大学が求めていた学び、学び合うこととは？

日　時
2024年11月10日（日）

会　場
上田商工会議所 5階ホール
（上田市大手1-10-22）

午前　講演「自己教育と相互主体的な学びを創る」
長島伸一 長野大学名誉教授

午後　【市民ゼミナールの試みと意見交換会】
「講師とシンポジストとの対談
および参加者との意見交換」